

桜友会報

第13号
2017.8.10

昭和女子大学附属昭和小学校同窓会
「桜友会」
〒154-8533
東京都世田谷区太子堂1丁目7番57号

今年のテーマは、「思い出の那古」
10月1日(日)に桜友同窓会を開催します。

2017年度の桜友同窓会を10月1日(日曜日)に開催します。

今年のテーマは、「思い出の那古」

桜友同窓会は、桜友会会員が一同に会する機会。同じ時期に学び遊んだ同期生だけでなく、上級生・下級生、そして恩師の先生方と交流する良い機会です。10月1日は、「初等部」のホームカミングデー。みんなで集まり「昭和つ子」に戻りましょう。

大和屋旅館で過ごした世代、望秀学寮で過ごした世代、みんな共通なのは、「那古の海」。「那古の思い出」をみんなで語り合います。みなさんの思い出メッセージ、思い出の写真をお待ちしています。

桜友同窓会

日時 2017年10月1日(日)
11時～14時30分

会場 昭和女子大学学園本部館
3階大会議室

会費 一般 3000円
大学生・大学院生 2000円

中高生 無料

(当日、受付でお支払いください。)

参加申し込み

会報同封のハガキを、
9月15日までに「返送」
ください。

バスツアーのご案内

2018年2月17日(土)に、桜友会全世代共通の思い出の地「那古」を訪ねる「房総バスツアー」を企画しました。詳細はP・6をご覧ください。



全員集合！
卒業50周年
記念品贈呈

10月1日(日) 桜友同窓会出席の
9回生の方全員

1967年(昭和42年)3月卒業の9回生の皆様、昨年度より卒業50周年の桜友同窓会に出席された会員の皆様に記念品を贈呈しています。

今年が9回生の年です。是非ご出席ください。

尚 既に卒業50周年を経過している1～7回生の皆様には、卒業60周年に記念品を贈呈する予定です。



那古のスイカ割り



昨年桜友同窓会のコマ

桜友会 ホームページ

◎アドレス◎

<http://showa-ohyukai.jp>

◎検索◎

「昭和小学校 桜友会」

◎QRコード◎



桜友会 連絡先

メールアドレス: ohyu@swu.ac.jp

FAX番号: 03-3487-6850

◇会費納入のお願い

毎年、2000円の会費納入をお願いしております。郵便振替用紙を同封しておりますのでご利用ください(手数料のご負担もお願いいたします)。恐れ入りますが、お名前、何回生(又は卒業年)、住所、Eメールアドレスをご記入ください。尚、すでに今年度分を納入済みの方にも振替用紙を同封しております。また、事務の複雑さを避けるため、過去の会費は徴収しないこととしておりますのでご了承ください。

◇同期会・クラス会に補助金1万円！

桜友会では、10名以上の同期会・クラス会に、その会費の補助として1万円を差し上げることになりました。幹事の方は桜友会までお申し出ください。尚、楽しい集まりの後、幹事の方は会報に掲載する記事と写真をお送りください。桜友会員の皆様からのお申し込みお待ちしております。

昭和小学校の現状について

●小泉校長先生にインタビュー●

卒業すると母校のことを知る機会が次第に少なくなります。そこで今回は、初等部の現状について、小泉校長先生にお話を伺いました。

— 先ず小泉先生が初等部の校長になられたきっかけをお聞かせください。

小泉校長… 昭和学園へは1977年高等部の英語教員として入りました。その後大学に移りましたが、人見楠郎先生から小学校でも英語の学習プログラムを作るように言われ、小学校に関わるようになりしました。そこで小学校英語の難しさを痛感しましたが、試行錯誤の末独自のプログラムを作り上げました。またその時、全学年の全教科書を精読しました。2005年に人見楷子先生（第三代理事長）に言われて教頭になり、その後2010年から校長になり今年で8年目です。昭和に入ってから今年で41年目ですが、その中で小学校が半分以上になりました。

— それでは昭和小学校の現状について、質問させていただきます。

「世の光になろう」という建学の精神を、小学校ではどのように生徒に伝えていますか。

小泉校長… 「世の光になろう」は英語で言う「Be a light to the world」、小さな光でいいから世のためになろう、という意味なんです。これを子供に言ってもわからないので、「目当てを指して進む人」「まごころを尽す人」「体を丈夫にする人」という具体的にわかりやすい

3つの目標にしています。体を丈夫にすると言っても具体的にどうすればよいかということになりますが、心と体を丈夫にするためにグラウンドを用意してあげたいということで、父母会から頂いたお金を大切に貯めて60周年の夏にグラウンドを人工芝にして、さらに昨年新たに遊具を整えました。子供たちはロープを伝わって遊具のてっぺんまで上がるなど、大人ができないことをどんどんやっていきます。

— 20年後も活かせる能力を目指した教育をされているとのことですが、それはどういうものですか。また、他の私立や公立校と違うところはどこでしょうか。

小泉校長… その時に大切なことをやり損わないような教育をしていきたい。子供のころにやったことが、一生その子の血となり肉となります。例えば、7・8歳の小学校低中学年では体を作るのが大切ですが、この時こそ遊びを通じて肺や心臓などの内臓を強くする必要があります。筋肉を鍛えようとすると、逆に骨が伸びなくなる可能性もあり、これは勧められません。



富士登山マラソン

それでは何が良いかということで、本校では富士登山マラソンをしています。これで柔らかい筋肉を作り、内臓を強くし、加えて頑張ることでも心も強くすることが出来ます。また、宿泊行事を行うことで親から離れ、我慢することを経験して心を鍛えることが出来ます。このようなことを通じて人としての土台を作り、20年後に繋げていくようにしています。

教育も体力も、土台を作ることが大切です。学習の習慣をつけることが大事で、勉強させるといふ強制的に何かをやらせるという発想はありません。明治時代に学校ができた当初は、公立校を作り国が国民に強いて勉強させるという発想だったので、強制するという意味の「勉強」が「学習」と同意語のようになってしまいました。私立校は子供のため、子供を中心とした学校として立ち上がったので、そこが公立校と違うところでしょう。

また本校が他校と違うところは、「教育のめあて」というカリキュラムを作り、どの学年で何をやっているか一目で分かるようにしていることです。これを

冊子にして全保護者に配っていますが、このカリキュラムの元になっているのが総合学習です。

英語は小学校では1年から、「こども園」では2歳から始めています。学校の方針は、英語が使われている場に子供たちを置く、英語を教えるのではなく英語で何かを学ぶ、その中で親しみを覚えながら自分も何か言えちゃったという経験をさせることがポイントになっています。例えば、社会科の地図記号を使って神社をshrine、温泉をhot spaという風に教えるようにしました。語学は聞き取ることが基本で、言葉を学ぶには通常1万時間かかると言われています。母国語は6歳ぐらいまでに1万時間になります。これまでの英語教育では知識ばかりを学んでいましたが、これではテストで点が取れても英語を使えるようにはなりません。本校ではReceptive skills即ち「聞くこと」「読むこと」に力を入れています。読めるようになれば自分で学ぶことが出来るようになるからです。本校の英語教育はNHK Eテレの英語番組のモデルになったりして、全国から見学者が絶えません。これからの進化していかなければなりません。現在でもかなり高い水準であると自負しています。

— 総合学習は、今でも昭和小学校の目玉になっていますか。

小泉校長… 総合学習は昭和小学校の



小泉清裕校長先生



コンピュータ講座

目玉の真ん中の瞳です。このために他の教科がある、これをやることで子供たちが学習を経験するのです。昨年の3年生の総合学習のテーマは「街」でした。街には何があるかということで、お店屋さんがある、自分たちがお店屋さんになりたいということになりました。多摩川の河川敷で世田谷区が主催するフリーマーケットに店が出せるように交渉して、ポップコーン屋さんを出しました。当日雨になり、本当に売れるか心配しましたが、幸い午後から雨が上がり最終的には300個弱売れたようです。ポップコーンを作る機械を借りたり、ポップコーンの入れ物を手作りしたり大変でしたが、7000円強の利益が出てほっとしました。ただ36人でやって7000円の利益では一人当たり190円にしかならず、みんなの感想は「商売は大変だ」ということでした。利益は話しあって寄付しましたが、ただ本から学ぶのではなくこのように体験することが大事だと考えています。

—生徒は「目標は6年生」と思っているようですが…

小泉校長…少子化と共に一人っ子率が非常に高くなっています。下の子の面倒を見るとか、上の子に面倒を見てもらうという経験その

ものが無い子供が増えています。年齢の違った子供たちの触れ合いを意図的に作ってあげなければいけないということで、縦割りのグループを作り、掃除や下校班、学寮などで実施しています。学寮では6年生と3年生、5年生と4年生という組合せで上級生が下級生の面倒を見るところという経験をしています。卒業後もこの関係が続いている子供たちも多いようです。

—行事が多いとも聞いていますが…

小泉校長…小学校の6年間は未来を切り拓く基礎作りのための大切な時期で、授業だけでなく体験する大切さを実感できるようにしています。文科省の新しい指導要領が3月に発表されましたが、そのキーワードは「主体的・対話的で深い学び」というもので、昭和小学校が70年近くに亘って言ってきたことと共通しています。私たちは文科省のキーワードの他に「体験的」ということばを加えており、行事の中で実践しています。

—アフタースクール(学童クラブ)とは、どのようなものですか。

小泉校長…昨年12月に保護者を集め、放課後学習塾などに通うことは保護者の判断に任せる、という新しい取り組み形態をお伝えしました。放課後はどこに行くのも自由ですが、今の大きな問題はハウスがあってもホームがない、ホームレスの子供が増えていることです。これは聖路加病院の日野原先生が言われたことで、放課後子供の居場所がないことが問題となっているのです。そこでアフタースクールを作り、子供園と同じく午後7時まで生徒を預かっています。「こ

ども園」にも子供を預けている保護者にとつては、子供たちを一度にピックアップできるので好評です。アフタースクールには現在100人近いお子さんがおり、1年生から3年生までが多いのですが、4年生5年生もいます。また、毎日いる子もいれば、週のうち何日かいる子もいて様々です。

アフタースクールでは体操クラブや英語、ピアノのクラスもあり、また地域の夏祭りへの参加など色々なプログラムも用意されています。

—同じ構内にブリティッシュスクールが共生していますが、そことの交流はどうですか。

小泉校長…ブリティッシュスクールはインターナショナルスクールと違い英国の学校システムで運営されています。英国が設定したカリキュラムを逸脱してはならず、進級テストなどもグリニッチ標準時に合わせて全世界一斉に行うなどかなり厳格です。従い、同じ敷地内にいるからと言って簡単に交流することは出来ませんが、イベントを一緒に行うなどできる範囲で交流しています。

—中学進学時、他校受験は可能ですか。また、男子生徒の状況はどうですか。

小泉校長…入学の時に全保護者には「小学校を決めるのは保護者が決めてください、中学校については、本人が人生を決めるということと本人に決めさせてください」と言っています。中学で外部を受験するのは自由です。ただ、現状女子の8割前後は校長推薦という形で中高部に進学しています。本人が中学をどこにするか決めるシステムを作りたいという

ことで、4年生5年生の女子生徒に他の中学校を見て判断するよう伝えていきます。年に一度、有楽町の国際フォーラムで私立の小中高が一同に会し自校を紹介するイベントがありますが、児童や保護者はそこに行つて話を聞いたりしています。

男子生徒については、一学年20名以上を目標にしています。男子児童の少ない学年では、最終学年で男子を1クラスに集め、中学進学時に男子生徒だけのところでも対処できるように経験を積ませていきます。

—最後に昭和小学校の将来像をお聞かせください。

小泉校長…不易流行という言葉がありますが、私立校でその不易の部分がなくなつたらその学校の存在意義はないと思います。人見楠郎先生が以前こう言われました。「この学校に人が集まり世の中が求めている間は学校を存続させる、人が来なくなりこの学校が担っているものを世の中が求めなくなったら、学校をやめればいい」。根幹を動かさない、それが私学だと思います。人見楠郎先生はこうも言われています。「小学校の大事な時期に、受験だけのために6年間を使うのはもったいない。子供にとって重要なことを教える、誰かのためになれる人間となるための基礎を生徒につけさせる、これこそが大切だ」と。私もこのところを変えるつもりはありません。

2時間に亘り小泉校長先生からお話を伺いました。限られた紙面のため、お話の全ては掲載できなかったことをお許し下さい。

学年幹事会

副会長 大野 あや子

5月14日(日) 午前11時から学園本部館中会議室で第8回学年幹事会を開催しました。

住所・氏名がわかっていく幹事総数102名にご案内を差し上げ、返信56通、出席21名の参加をいただきました。



学年幹事会風景

の位置づけについての貴重なご意見をいただきました。ご意見・ご提案を今後の活動に生かし、活発な幹事会にしたいと思います。

幹事会後の懇親会では、幹事の方々の親交を深めました。

訃報

13回生等を担任された菊池史朗先生が3月31日ご逝去されました。享年81歳でした。心よりご冥福をお祈りいたします。

訃報

そえだえつこ
副田悦子先生

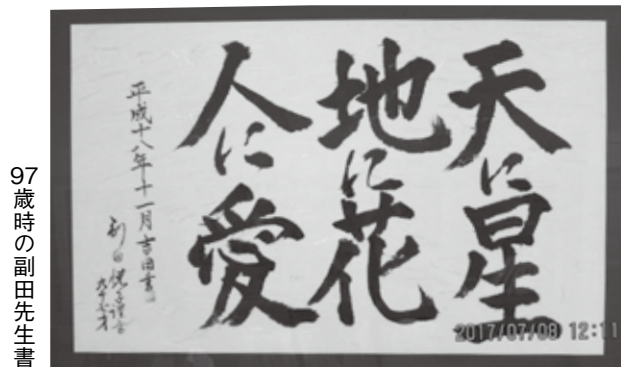
2016年12月20日ご逝去

享年107歳

追悼

有賀三奈子先生から頂いたお手紙をここに掲載させていただきます。

「副田先生は昭和20年(1945年)敗戦後京城(ソウル)から長崎県に引き揚げてこられました。私は京城の三坂小学校で5年生の1年間をご指導いただいたのですが、敗戦の時は女学校2年生で、同じ九州の福岡県に引き揚げ、副田先生がNHKの「尋ね人」の時間に私を探し出して下さったのでした。先生は他にも「尋ね人」の時間を利用して多くの教え子の消息を集められたと伺っております。



97歳時の副田先生書

郎先生は「あなたに代わる人を連れて来なさい」とおっしゃったのでした。副田先生からお電話をいただいた時、この悩みをお伝えしたところ、即座に「私が東京に行つてあげる」とおっしゃって上京くださり、昭和に同道して人見先生に面接、副田先生の奉職が決まったのでした。

昭和33年(1958年)副田先生は48歳で吉祥寺に居を構えられ、井之頭線と世田谷線を使つて70過ぎても初等部に通勤されました。そして人見先生は70歳を越えられた副田先生を、年齢など知らんぷりして毎年任命しておられました。

副田先生は生徒たちからはもちろん、ご父兄からの信頼も厚く、同僚と歩調を合わせながら私立学校の教師としても立派なお働きをなさいました。

写真の「天に星 地に花 人に愛」という額は私の誕生祝いに贈つて頂いたのですが、もったいないので、校友会にお納めいただきました。」

4回生

四国松山旅行

粕谷 佐知子

平成二十八年十月十五日、秋晴れの雲一つない青空の中、有賀先生始め、四回生八名(一名は先発)は羽田から胸躍らせて四国松山へ飛び立ちました。

今まで校友会の総会、先生方の慶事

や同期の集まりに、四国より駆けつけて下さった村上君から、「今度は皆で松山においでよ。」とお誘いを受けて、早十五年。八十五歳になられる有賀先生も一緒にできるうちに、やっと今回の旅行の運びとなりました。

村上君がレンタカーを手配し、籾木君が運転するワゴン車に総勢十名同乗し、村上君差入れのミカンを食べ車中はとても賑やかで、涙を流しながらの大笑

いであふれておりました。

一日目のしまなみ海道の美しい眺めもさることながら、何といつても圧巻は二日目の、かつて村上水軍が本拠地とした能島上陸と、潮流クルーズでした。初めは参加しないとおっしゃっておられた有賀先生も乗船され、能島にご一緒して下さいました。水しぶきを浴びてのクルーズはスリル満点でした。上陸した能島では、お城のあった小高い丘に登り、

昔の村上水軍に思いを馳せながらガイドさんのお話を伺いました。帰りの船では大潮のため潮流が速く、見事な渦潮を間近に見ることが出来たのは貴重な体験でした。

下船後は、隣接している立派な建物の村上水軍博物館に立ち寄りしました。そこでは村上水軍の歴史を紹介し、舟・武器・調度品等当時をしのばせる品々が陳列され、興味深く拝見することが出来ま

した。かつては日本最大の海賊と呼ばれた村上水軍は、因島・来島・能島と、三つの海賊に分かれていたとのこと。在校中は、村上君が因島の村上水軍の末裔だとは思いますがありませんでした。

夜は、初日から同行して下さった村上君の奥様のご友人が女将をされているホテルに泊まりました。最上階の広いお部屋をご用意して頂いたのは有難いことでした。道後温泉の湯にも浸り、美味しいお料理も頂き、夜遅くまで有賀先生を囲んで、初等部時代の嬉し恥ずかし話をして、大満足

の一日でした。

二泊三日の旅でしたが、村上君ご夫妻

のお骨折りによ
り、美しい松山を
体感することが出
来、尚一層同期の
絆が深まったと思
える旅でした。



村上水軍クルーズ

羽田からの帰
り道、タクシーの
運転手さんがおっ
しゃった言葉が今
でも私の心に残っ
ています。「小学
校時代の先生や同
級生と旅行出来る
なんて、うらやま
しいですね。」

8 回生

昨年卒業50周年を迎えて

大崎 照一

正門をくぐり暫く歩くと左に人見記念講堂があり、その前にトルストイの像が立っています。恥ずかしいですが正直なところ、昭和とトルストイの関係は全くと言っていいほど知りませんでした。貴族の息子であったトルストイは、有名な小説「戦争と平和」「復活」などの著者です。十数年前になりますが全巻買い2度読みました。

明治維新後、日本は多くの国際戦争を繰り返してきました。日清日露戦争に勝利を収めたことによる軍隊の思い上が

りか、または正義のために
か、負けると解っていないが
らアメリカと第二次世界大
戦に突入しましたが、当然
の如く敗れ、アメリカの統

治下に置かれました。戦争により両国とも多くの国民が亡くなりました。日本帝国憲法に基づいた日本国憲法が制定され、「戦争は放棄する」という平和憲法が今日まで続いています。運よく私たちは戦争のない時代に生まれ育ち、故人見校長はじめ諸先生、諸関係者、両親のお蔭で素晴らしい教育を受け、昭和小学校8回生として卒業し50周年を迎えることが出来ました。

「国の復興は教育にあり」とする「米百俵」の考え方は有名ですが、まさに



昨年の同窓会の8回生

故人見校長は戦後の国の将来を見据え、学校教育、特に私学教育に全身全霊を注がれ確固たる基礎を築きました。昭和の教育を受け継いだ生徒が社会に旅立ち、様々な人生を歩んでいます。そして還暦を過ぎた卒業生は50周年を迎えました。今振り返ればあつという間の出来事でした。昭和41年に卒業して50年経った今、8回生に限らず様々な道を選択し多くの船が昭和という港を出港し、また母港である母校に戻って来ています。しかし2016年10月に、前年に同窓会で講演していただいた大先輩である登山家・田部井さんが亡くなりました。残念であるとともに深くお悔やみ申し上げます。

昭和小学校6年間よく学び、よく遊びました。様々なことを体験しました。館山の臨海学校、日光の林間学校、高尾山登山、餅つき、学芸会等と、楽しい思い出は数えると限りがありません。小さい

56 回生

高校生になって

2組 小蘭江 奏星

平成29年4月9日(日)、私たちは1年ぶりの元6年2組のクラス会を開きました。担任の岡崎先生は急用で来られませんが(とても残念)でしたが、36人中17人が参加しました。高校生になり急に大人っぽくなった人や全然変わらないう人、学校生活などの近況報告をしあい、楽しい時間を過ごしました。

頃の良い思い出は将来まで続きます。最後に8回生50周年を健康で迎えることができ、さらにお祝いのメダルまでいただき、皆様に心から深く御礼申し上げます。良い思い出をこれからも沢山作って参りましょう。ありがとうございます。



応接室前でチーズ！(奈木野先生に撮影していただきました)



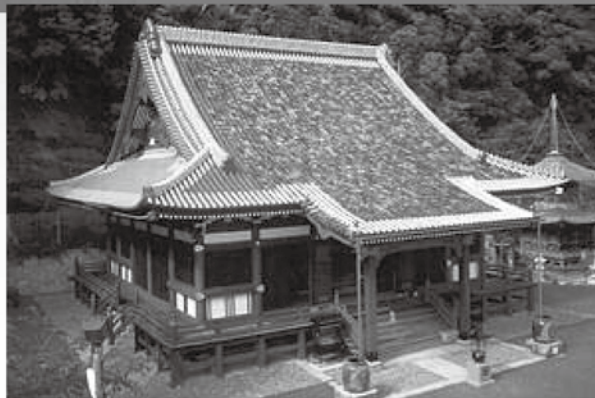
桜友会

昭和女子大学附属 昭和小学校 同窓会

思い出の那古を訪ねるバスツアー

実施日 2018年2月17日(土) 日帰り

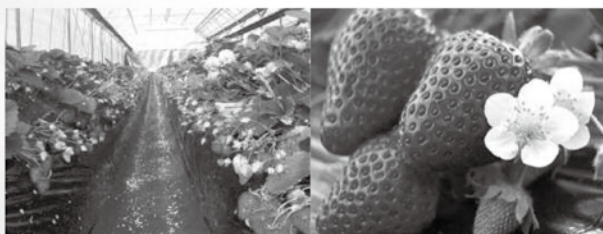
行先 : 千葉県・房総半島
集合 : 7:45 昭和女子大学



桜友会全世代共通の思い出の地「那古」を訪ねる「房総バスツアー」を名鉄観光サービス(株)様のご協力を得て、企画いたしました。
クラスメイトを誘い合いグループでの参加大歓迎。またファミリーでの参加もOKです。
正式ツアー募集告知は、10月1日、桜友会HP上で、行う予定です。

○予定スケジュール

出発 昭和女子大学 8:00	= (首都高・アクアライン) =	休憩 海ほたるPA	=	参拝・見学 那古寺・那古観音 10:30 ~ 11:00	=	見学 望秀海浜学寮 11:15 ~ 12:00
= 活貝焼き食べ放題・お買い物 漁師料理たてやま 12:15 ~ 13:30	=	旬のいちご狩り・30分食べ放題 館山いちご狩りセンター 13:45 ~ 14:30	=	(館山道・アクアライン)	=	休憩 海ほたるPA
= (首都高) =	到着 昭和女子大学 17:00					



○参加費用: 大人 ¥7,000 小人(小学生まで) ¥5,000

○定員: 45名 ※先着順となります。定員を超える申込がある場合は、キャンセル待ちとなります。

○申込について: 別途、10月の総会の際にご案内します。

○問合せ先 : メールアドレス ohyu@swu.ac.jp

《旅行企画実施》 名鉄観光サービス(株)銀座支店

〒104-0061 東京都中央区銀座7-8-2 銀座御幸ビル8F

TEL 03-3572-0514

FAX 03-3571-7447

昭和小学校「お帰りなさい先輩」の講演を終えて

楠本 達士

「今日は、皆さんに皆さんの知らない世界のお話をしようと思います。皆さんの前には、世界への、未来への扉がたくさんあります。今日は、そのいくつかの入り口を少し開いてみましょう。」といて口火を切りました。外の世界を教えられるのは外の世界を経験した卒業生の務めでしょう。今回の講演の趣旨がそこにあると思いました。

「赤毛のアンの話」は、すぐ女の子が反応しました。オルコットの「若草物語」とモンゴメリの「赤毛のアン」は確かに別格の本だと思います。夢と希望と、自然の素晴らしさがあります。また、男の子に話した、デユマの「三銃士」ダルトニアンの物語」と「岩窟王」モンテクリスト伯爵」は輝ける本です。冒険と夢と希望の物語です。これらにも敏感に反応を示したことを見て、いい教育を受けているな、心豊かな人に育っているなと感じました。我々もまた、昭和小学校の時はこの子たちと同じように純粋だったと思います。社会の荒波にもまれ、さもなくばなり、変なことに計算高くなり、打算のもとで人生を送ってしまったのかもしれない。昭和小学校の子たちの目の輝きを壇上から見た時それを強く感じました。

2年生から6年生の児童は幅が広すぎてそのすべての児童が、理解できる、飽きない、面白くてためになる話をするこ

とは、大変難しいことです。そこで、工夫をして、小さなお話をたくさんすることにした。12の話の構成としたのです。どれか一つでも分かってもらえればいいかなと思いました。

1つ目は、小学生達の小学生時代は、どんな時代だったかということ。なしる60年前の話です。なかなか覚えていません。「玉電がチンチン電車だったな」



後列右から3人目が筆者

これを言おうと思いました。玉電とは今の東急電鉄のことです。そして学校の前を、路面電車が車道を走っていました。

2つ目は小学校の思い出です。記憶力欠しい自分なので、旧友の協力を得ることになりました。その女性によく小学校時代のことを覚えていてびっくりしました。「あんたは玉電の中でわるふざけをしていつも車掌さんに怒られていたのよ。あの顔の丸い車掌さんよ、覚えているでしょう。」覚えてなんかいませんよ、あの玉電です。まあ、みな楽しい思い出です。

3つ目は「現在のご活躍の様子などをお話したい」という昭和小学校の依頼に応えるべく、今何をしているのかということをお話しました。現在の仕事は、技術コンサルタントという仕事です。

説明すること、は、やめました。というの最初の原稿の案を家内に見せたところ、ひとつこと「小学校2年生は、裏の公園で遊んでいる幼稚園児と2つしか変わらないのよ、難しい言葉はわからないのだから、やさしいやさ

しい言葉で丁寧に説明しなくちゃ。」これを聞いて、ぎゃつと思いました。そんなことしていたら50分なんてすぐ済んじゃう、また、こんなことも言われませんでした。「2年生は45分授業なのよ、50分なんて黙って座ってられないわよ。」まあ、いろいろ大変そうです。なんとか、ビデオでごまかさなくては、いろいろなネットを当たり適当な映像を探しました。玉電はなかったたので広電で済ませました。飛行艇は、うまいこと離水時の映像がありました。これはかなり好評でした。ついでに潜水艦も見つけましたがあまり迫力はなかったです。びっくりしたのは、昭和49年に船で世界1周したときの写真がネットにあったことです。こんなものをよくネットに載せるものだと思

2016年度(平成28年度)収支決算報告・2017年度(平成29年度)収支予算案
会計期間: 2016年4月1日～2017年3月31日 (予算案については2017年4月1日～2018年3月31日)

科目	予算	決算	差し引き	H29年度予算案	
収入の部				収入の部	摘要
入会金	872,000	1,070,000	198,000	1,000,000	
年会費/寄付	900,000	722,605	-177,395	700,000	
総会・懇親会参加費	200,000	163,000	-37,000	200,000	
バザー売上・寄付等	200,000	435,360	235,360	300,000	
銀行利息/利子	1,500	487	-1,013	500	
その他入金			0		
計(A)	2,173,500	2,391,452	217,952	2,200,500	
支出の部				支出の部	
会報(作成・発送)	700,000	679,760	20,240	700,000	
総会・懇親会参加費	450,000	309,009	140,991	400,000	
幹事会	30,000	13,112	16,888	100,000	学園負担がなくなった
ホームページ Web サイト	180,000	168,480	11,520	170,000	
事業費(昭和祭・運動会等)	250,000	123,055	226,945	300,000	イベントバス代
昭和祭・バザー・桜友会の部屋	100,000				上段の事業費に含む
通信費	50,000	55,043	-5,043	70,000	学園負担がなくなった
事務費	150,000	113,693	36,307	150,000	
会議費	50,000	1,621	48,379	50,000	
予備費	150,000	17,980	132,020	150,000	
計(B)	2,110,000	1,481,753	628,247	2,090,000	
当期収支差額(A-B=C)		909,699		110,500	
前年度繰越金(D)		8,895,181		9,804,880	
来年度繰越金(C+D)		9,804,880		9,915,380	

前年度繰越金	現金預金有高	預金明細	
	8,895,181	ゆうちょ銀行定期	2,001,085
		ゆうちょ銀行普通預金	5,309,035
		みずほ銀行普通預金	2,457,134
		現金	37,626
合計	8,895,181	合計	9,804,880

合計金額の内、500万円は記念事業積立金です

きました。

次に専門の飛行機の話をしました。それが、4つ目の飛行艇の話です。ニュースキャスターの幸坊治郎を助けたあの飛行艇です。海の救急車で3階建ての大きさ、皆さんの身長の数倍3メートルの波に着水できます。と言いましたら、「え」という表情でしたが、ビデオを見せて飛行艇が離水したら皆さん納得、「わー、すごいんだ。」という感じでした。

5つ目は飛行機が、開発時にやる試験飛行の話をしました。いかにアクロバティックなフライトをやるかという話です。400メートルを無重力状態で落下する失速試験の話が受けるかなと思いましたが、全く駄目でした。

6つ目は潜水艦、7つ目は江田島、8つ目は、遠洋航海の話をしました。この中で、外国での歓迎セレモニー、その国の市長主催、海軍主催、お返しのレストランでの社交界のようなパーティの話は皆の興味を引きました。大人になった自分達も国際社会の晴れ舞台に出て、こんなパーティでワインを傾け、ダンスを踊るんだと夢を馳せたのかもしれない。

昭和小学校の先輩としてきちんと話しておこうと思ったことがあります。それは、なぜ勉強をしなくてはならないかということ。いい学校に行き、いいところに就職して社会的地位と富を得るそれが幸せだ。だから勉強しなさい。」これは世の親たちが異口同音に言う言葉ですが、社会に出てみればいかに儂い言葉か、みなさんも身に沁みていることと思います。最近ではコンピュータ社会であ

り、パソコンがあればどんな知識も手に入れますし、いくら難しい計算もたちどころにできます。スマホで同時翻訳ができどんな外国人と何語でも簡単に会話できる世の中です。「この時代になぜ勉強しなければならないの」と後輩たちは思っていることだろう。」それを解決することが今日のもうひとつの使命かなと思いました。

そこで10番目に、「なぜ国語と英語の勉強をするのでしょうか」という話をしました。それは、言の葉を勉強することなのです。「言葉は存在の棲み家」と言われています。きれいな言葉にはきれいな心が宿ります。言葉の重みで自然を感じる事ができます。またある時は時間をも感じられます。それが、詩となり歌となり、演劇となるのです。この大事な言葉の勉強は小学校の時に基礎ができます。

また、科学は人類の遺産の継続であるとともに発展でもあります。人類の夢を正しく受け継ぐことも小学校の数学の授業から始まります。そこでこのことについて違う表現でやさしく話をしました。意図がうまく伝わったかはわかりませんが、このように説明しました。「言葉の素晴らしさそれは、ある人が作り出したものを言葉により次の世代に受け継ぐことができます。それが人類の進歩につながったのです。国語を勉強し外国語を勉強すれば、人類の英知を受け継ぎ、世界に羽ばたくことができるのです。」と教えました。

また、0を発見したインド人の作った数字をみせながら、「0について」の話

をしました。0には、空から、無につながる深い人類の知恵があります。それはコンピュータでは解けないものです。飛行艇もまた、すべてはコンピュータでは解けません。空と海の混じり合った世界はいまだに数学では解明できません。だから、飛行艇にはロマンがあるのですと教えました。

そして最後に自然の素晴らしさについて話をしました。「昭和小学校の、豊かな環境のもとで自然に向き合い、心の眼を開いてください、そしてそれが昭和小学校の教えです。」と言いました。

帰り道、講演会に参加してくれた級友と「子供たちの目の輝きが素晴らしい、目が澄んでいるな、この学校は健全だな」と話しました。楽しい1日でした。

11 回生

学年同窓会

竹山恵美子

2016年9月25日に開催された「人見楠朗先生生誕100年」を記念した桜友会総会ののち、夕方から、初等部11回生は還暦の節目を祝い、2組の瀬村さんを幹事として学年同窓会を行った。

1組が1・2年生の時、クラス担任をしてくださった黒田民子先生にお声掛けしたところ、ご家庭での予定をキャンセルしてまでご出席くださった。2組の宮川章義先生にもご出席していただき、あったが、先生は総会後すぐに帰宅されていて間に合わなかった。

会場の三軒茶屋欧風レストラン「キャ

ンドル」に集まったのは、黒田先生のほか田中、野本、椿、瀬村、高橋、酒井、西山、小林、大崎、竹山（敬称略）の10名であった。

50歳の時の学年会からはや10年。集まった次の瞬間から初等部の時代に帰り、懐かしい話に花が咲いた。そして、その時間はあつという間に過ぎ、また次も集まろうと約束して解散した。

後日、黒田先生から封書が届き、2年生の時の作文が同封されていた。長い間大切にしまっておいてくださったことに感激した（それにしても当時の自分の文章力のなさには閉口。先生、ごめんなさい！）。でも、そうやって温かく見守ってくださったお陰で、今の私達はここにいます。初等部での経験、思い出の一つ一つは大切な宝物。ご指導いただいた人見先生、黒田先生、宮川先生、多くの先生方、ありがとうございました。



今年の昭和女子大学「秋桜祭」のテーマは「輝」と発表されました。昨年同様多くの来場者が見込まれています。

昭和祭の小学校会場において、桜友会では校舎の中央エントランス奥の第一応接室に桜友会談話室を設けます。恩師や友人との再会の場として是非ご利用ください。

また、校舎2階の渡廊下・ワゴンルームで桜友会バザーを催します。こちらにも是非お越しください。

第25回 昭和祭 「秋桜祭」

2017年11月11日(土)12日(日)
10:00~16:00



2016年バザー風景

昨年5回目を迎えた桜友会バザーは11月12日・13日の両日秋晴れの穏やかな天候に恵まれ、在校生ばかりでなくご父母の方々など大勢の来客で大変な賑わいでした。

会場は2階の渡廊下とワゴンルームで、ワゴンルームを子供たち向けのくわくコーナーと銘打ち、毎年決まって6回生からご寄付いただくプラモデル、ミニカー、フィギュア等に加え、おもちゃ、アクセサリ、カステネット、笛、プラスティックの光る刀等の売り場、そしてゲームコーナーでは小さなお子さんから六年生まで、景品を目指してじゃんけんゲームに興じ大盛況でした。

昨年2016年のバザー報告

バザー実行委員長 大石 恵津子

渡廊下では、例年通り3回生の寄付による北海道キャラメル、そして1回生のお嬢様による数多くの手づくりアクセサリ、4回生にご寄付いただいたタオルの3本セット、手作りのループ付きハンドタオルと巾着袋、今回数をかなり増やしたりサイクル子供服、バッグ、ポーチ、エコバッグ、そして陶器類、ドイツ製アングラ肌着、そして毎年桜友会バザーに花を添えている手作り刺繍入り製品（マフラ、お弁当袋、衣類袋、はさみ入りケース、ショルダーバッグのクッション、華やかで気品あるエプロン等）が所狭しと並び、途切れることのない人の流れに、90%の商品を売ることができました。そして自らお手伝いを申し出ていただきました方々は、桜友会として何よりの誇りです。その上、年代を超えた同窓生と一緒に子供たちにやさしく接し、長時間の立ち仕事を楽しそうにこなしてくださいましたのも、バザーを開催した喜びの一つです。

昨年はその前のように商品を仕入れることはせず、会員からの寄付で商品をそろえたこともあり、2日間の売り上げは321,860円となり、皆様からのご寄付138,500円を合わせた合計は460,360円となりました。諸経費を差引いた373,478円を周年祝金積立とすることができました。桜友会の活動を日ごろから応援して下さる小泉校長先生をはじめ初等部の先生方、初等部父母会、学園本部、そして会員の皆様



2016年の昭和祭風景

桜友会役員一同心より御礼申し上げます。

今年もまた楽しい企画で桜友会バザーを盛り上げたいと考えております。寄付品をお心掛けいただき、いつでも昭和女子大企画総務部内桜友会宛お送りいただければ幸いです。引き続き桜友会へ、そして恒例となりましたバザーへのご理解とご協力をお願い申し上げます。

宮田まゆみさん

「笙」で文部科学大臣賞受賞

8回生の宮田まゆみさんが平成28年度の芸術選奨文部科学大臣賞を晴れて受賞されました。桜友会の誇りであり、心よりお祝い申しあげます。宮田さんより寄稿文をいただきました。



宮田 まゆみ

昨年9月、久しぶりに桜友会の総会に出席しました。昨年は私たち第8回生の卒業50周年という区切りの年でした。なんと、半世紀です。桜友会からも記念品を頂けるといふ噂を聞き、これはぜひとも出席しなくてはと、いそいそと出かけて行った次第です。第8回生の出席者はそれほど多くありませんでしたが、卒業以来50年ぶりに会う同級生がいたり、担任の先生にもお会いすることができて、この日はかけがえのない一日となりました。

懐かしい「昭和のうた」を皆で何曲も歌えばよみがえる運動会や臨海学校、林間学校の景色。総会後は級友たちと校庭を散策。五年生の時に開催された東京オリンピックを思い出して「この体育館で体操のチャスラフスカ選手が練習していたね」とか、「この池で〇〇君と〇〇君が魚釣りして校長先生に叱られていたね」とか、話が尽きませんでした。

私は音楽大学に進みピアノ科を卒業し、その後雅楽を学んで演奏活動をはじめ



めました。「笙」という楽器の演奏です。

総会後の11月にリサイタルがあり、総会で再会した同級生が何人か聴きに來てくれました。同級生に聴いてもらったその演奏会に對して、うれしいことに平成28年度の芸術選奨文部科学大臣賞をいただくことになり、今年の3月に発表、報道となったのですが、さらにうれしいことに何人もの同級生からお祝いのメールをいただき、桜友会から美しいお花を添えた祝電をいただきました。8回生から美しい花束が届いたのです。感激しました。50年経っても「昭和の子ども」「昭和の仲間」として記憶していただいていることにほんとうに感激しました。これからも私の中で、初等部の6年間に経験させていだいたあたたく豊かな時間が、ずっと生き続けることと思います。ありがとうございます。



小川 薫

今回は子供の好きな寿司ネタ第1位、サーモンを使った色鮮やかな押寿司をご紹介します。

寿司飯は子供と一緒に作れるのが楽しいですし、1人1人小さいカップに入れば運動会やピクニックのお弁当にも大活躍。

アボカドをキュウリやさやいんげんに、サーモンをゆでた海老に代えても美味しかったです。



洋風ちらし寿司

【材料】

米 ————— 2合
昆布 ————— 3cm
すし酢 ————— 60cc
ケッパー ————— T2
ディル ————— 2枝
～錦糸卵～
卵 ————— 2ヶ
砂糖 ————— T1
塩 ————— t1/4
片栗粉 ————— t2
水 ————— t2
スモークサーモン — 60g
アボガド ————— 1/2
レモン
醤油

【作り方】

- ① 米を1割ほど水分少なめで昆布と一緒に炊く。炊きたての御飯に寿司酢と粗く刻んだケッパーとディル1本を混ぜる。しっかり混ぜてから、うちわであおぐ。
 - ② 錦糸卵を3～4枚作り、冷めてから細かい千切りにする。
 - ③ アボガドは薄く切り、レモン汁をかける。
 - ④ 型にラップを敷き、酢飯を半分入れる。スモークサーモンとアボガドにサッと醤油を塗り、交互に並べる。残りの酢飯を入れ、重しをして、30分以上置く。
 - ⑤ 型から出したら錦糸卵を全体にかけ、アボガド・スモークサーモン・ディルを飾る。
- スポンジケーキ型・パウダーケーキ型・カップに1人前ずつ入れてもよい。

レシピ